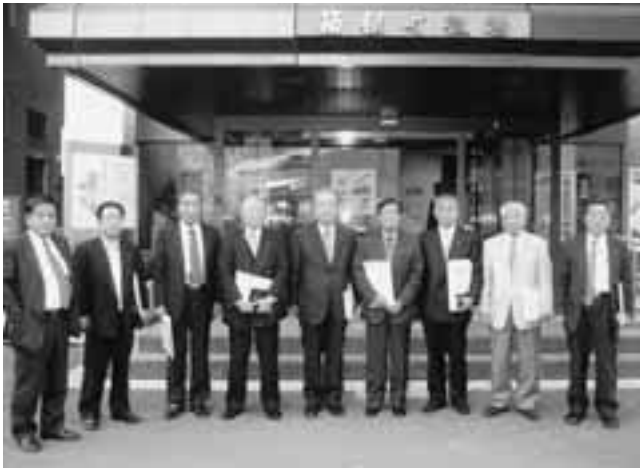


# 各会派による 政務調査報告

## 「公の施設」の民間委託について 指定管理者制度 平成15年地方自治法改正

視察地 神奈川県箱根町 新政21、みらい研伊奈、  
視察日 11月9・10日 第一民主党、清風会、誠会  
5党派合同



箱根町役場前にて

箱根町は平成18年4月制度導入に向け検討を重ねてきました。基本方針は「公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費の節減を図る」ですが、導入のみが目的でなく、30施設の見直しをしました。直営施設、既に公益団体に委託した施設、新規開設する施設。結果として平成18年4月導入は17施設となりました。スポーツ施設2、温泉施設1、老人福祉センター2、集会所5、観光施設3、産業施設1、駐車場3、です。

なお、民間委託による財政節減額は前年対比で約30%減の2千600万円との報告でした。

## 人口を増やし、 出生率を上げた村の挑戦

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組み実態を視察調査しながら研鑽に努めています。

視察地 長野県下條村  
視察日 11月14日・15日  
公明党、緑の会、民主党、  
誠会 4党派合同

少子化が深刻な問題となつている中、逆に出生率が上がり話題になつている地方自治体があります。

長野県下條村です。先月、右記4党派は合同研修でその村へ行き、研修して参りました。総務課長の話では、この成果はすべて議員から轉身した現村長の手腕に大きく預かつているとのことでした。就任時4千人に満たなかつた村人口を何とか増やそうと格安の村営集合住宅を作ったり、中学までの医療費無料化を打ち出しました。財源は村

人自身の手による公共工事の推進、職員削減、昼休みの消灯などで捻出したとの事です。結果、約10年後の今は4千215人と大幅に増加、おまけに出生率がこの間に1.80から伸び始め05年の村の試算で

は2.12と驚異的な数値を示しているといえます。人口減を止めないと村の明日はないとの悲壮とまで言える村の挑戦は大きく評価され、視察が相次いでいます。

このような小さな村の大きな挑戦は、当町での魅力ある町づくりに大いに参考になると思えます。



下條村研修会場前にて